



## おとばプロジェクト 始動。

### 第1回プロジェクト会議を実施しました。

2000年に始まった、お父さんお帰りなさいパーティー(おとば)は男性が「地域で活躍できる場」の紹介を目的としてスタートしました。25回目の開催となる今年、公募で集まった新たなプロジェクトメンバーが加わり、おとばは大きく生まれ変わります。2月のパーティー開催に向け、いよいよプロジェクト会議がスタートしました！おとばと一緒に盛り上げてくれるプロジェクトメンバーを引き続き募集しています。興味がある方は是非VCMまで！



## CONTENTS

- 2面 活動報告 (七夕のつどい、ボランティア講座)
- 3面 お仕事サロンの活動報告、運営委員の活動日記
- 4、5面 特集 令和6年能登半島地震  
～わたしたちにできること～
- 6面 失語症会話パートナー養成講座、ボラカフェのお知らせ  
事務所移転のお知らせ

### 発行: ボランティアセンター武蔵野

開所日: 火～土曜日/9:00～17:00

TEL: 0422-23-1170

FAX: 0422-23-1180

Mail: vcm@shakyou.or.jp

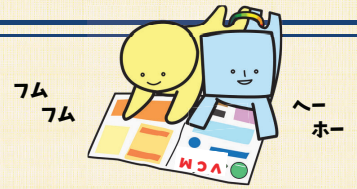
〒180-0001

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1(1階)

社会福祉法人

武蔵野市民社会福祉協議会

<https://www.shakyou.or.jp/>



## 七夕のつどいを開催しました。(開催日：6月30日)

今年も市民社協会員の皆様に日ごろの感謝を込めて「七夕のつどい」を開催しました。

今年は午前の部では映画『トップガンマーヴェリック』の上映、そして午後の部では武蔵野市民交響楽団による演奏会を楽しんでいただきました。

ロビーではお仕事サロンの出店や地域活動団体のPRブース、ぬり絵コーナーもご用意しました。



午前の部、映画の上映は大迫力の『トップガンマーヴェリック』。



武蔵野市民交響楽団による演奏会。大盛り上がりの中フィナーレを迎えました。

当日は午前の部、午後の部を合わせて延べ461名の会員の皆様と46名の新規に入会された方にご来場いただきました。いつも市民社協の活動を支えてくださり、本当にありがとうございます。

来年の七夕のつどいは武蔵野公会堂での開催を予定しています。どうぞお楽しみに！

### ボランティア講座

## 「相手を“尊重”するコミュニケーション術」講座

(開催日：7月2日、9日)

ボランティア現場で必要なコミュニケーションについて学ぶ講座を基礎編・実践編の2日間に分けて開催しました。講師には武蔵野大学の本多勇教授をお迎えし、対人関係におけるコミュニケーションについて「相手を尊重する」という視点でお話ししていただきました。

参加者は合計9名、年齢層は40代～70代と幅広く、全員がボランティア経験者でした。

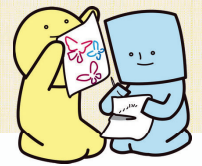
一日目は基礎編として、対人関係や他者とのコミュニケーションで大切なことを学び、二日目の実践編では福祉施設でのボランティア活動の事例をもとに「相手を“尊重”する」ということについて学びました。

最後に参加者から活動現場や普段の人間関係での悩みや困りごとを発表してもらいました。参加者それぞれがコミュニケーションについての大切さや人間関係で何かしらの課題を感じながらこの講座に参加をしたこともあり、発表されるエピソードに皆さん大きくうなずいたり、自分のことのように考えている姿がありました。

この講座を通して学んだことが、参加された皆さんの新しい気付きや、ボランティア活動への前向きな気持ちにつながってくれていたことと思います。



# お仕事 サロン 活動報告



## 作品展示販売会

6月1日 会場：市民社協会講堂

花ふきん、手芸作品の布バックやエプロン、編み物作品等お仕事サロンメンバーによる手作りの作品や”テンミリオンハウスきんもくせい”の皆さんが作られた夏仕様の編み物等、たくさんの作品が並びました。

毎回ご来場いただくお客様からの、「いつも楽しみにしています。」というお声はメンバーの励みになっています。



みなさん一点一点手に取ってじっくり選んでいました。



## 七夕のつどいでの出店

6月30日 会場：市民文化会館

七夕のつどいでは、市民文化会館のロビーにて作品展示販売を行いました。お客様から「去年購入したエプロンが良かったのでまた欲しくて。」「こんな素敵なデザインのバックがこのお値段なの!？」等、嬉しいお声を頂きました。いただいた作品へのリクエストや感想は作り手であるお仕事サロンメンバーの皆さんにお伝えし、今後の作品づくりに活かしていきます!

ご購入いただいた皆さま、ありがとうございました!



## お仕事サロン“番外編”

7月3日 会場：市民社協会講堂

この度「番外編」と銘打って新しい企画にチャレンジしました。現役子育て世代の親に「てしごと」を通してホッとした時間を感じてもらったり、多世代交流を出来たら、との想いで乳児親子を対象にキャンディスティック作りのワークショップを行いました。

今回はトライアルでの実施ということで一組の親子に参加してもらいました。参加者からは「おしゃべりしながらの作業が気分転換になった。」メンバーからは「久々に小さい子どもと触れ合えて楽しかった。」という感想をいただきました。「てしごと」を通じた交流が持つ新たな可能性を発見できた企画となりました。



一緒にキャンディスティックを作りながらのおしゃべりが盛り上がりました!

## Column

### 運営委員の活動日記



お仕事サロンはボランティア活動会員の皆様に支えられ順調です。

展示即売会も活動会員が購買者の要望を伺って作品作りをして下さり、売上に貢献しています。サロンの活動に世代を越えた方々の参加を模索しながら、新企画のワークショップを実施、9ヶ月のお子さん連れが参加して下さったり、活動会員も孫に関わられたような楽しいひと時を経験させて

いただきました。

手仕事の苦手な方も是非活動場所に足を運んでみてください。何か関われる事が見つかるかもしれません。バザーを行う機会も限られており、活動場所を新たに探しておりますが、皆様から寄せられた善意の品々を活かし、SDGs活動して参ります。

VCM運営委員 原田隆子

## わたしたちにできること 武蔵野市からの支援活動編



被災地では現在でも支援活動が継続されており、今後も息の長い支援活動が必要とされています。VCM通信では2号に渡り、被災地支援の現状を特集します。今号では「わたしたちにできること」として武蔵野からできる支援（寄付）についてまとめました。

### 1. 支援金の寄付をする

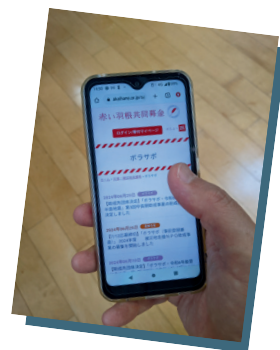
被災地で活動するボランティア団体等の活動を「寄付」で応援することができます。

中央共同募金会「ボラサポ・令和6年能登半島地震」

助成を行う団体が公表されており、寄付金はその団体への助成金の一部となります。

Yahoo!ネット募金 令和6年能登半島地震緊急支援募金

様々な支援団体の情報が掲載されており、自分で寄付先を選ぶことができます。



### 2. 義援金の寄付をする

被災者に「義援金」として直接届けることができる寄付です。以下の募集があります。

中央共同募金会 令和6年能登半島地震災害義援金

日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金

(石川県、富山県、新潟県、福井県)

石川県 令和6年能登半島地震に係る災害義援金

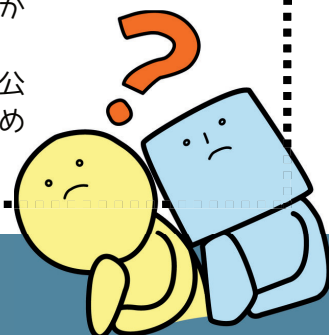
東京都 令和6年能登半島地震に対する義援金



### 支援金 と 義援金 ってどうちがうの？

被災地支援の募金には大きく分けて「支援金」と「義援金」があります。支援金は被災地で活動するNPO団体などを寄付で応援するお金のこと。寄付金の使い道も寄付を受けたそれぞれの団体が自由に決めることができるなど、柔軟かつスピーディに活用されます。

一方、義援金は寄付されたお金の全額が被災者の手元に直接届けられます。公平に分配するまでに時間がかかりますが、被災者へのお見舞金や生活再建のために役立てられます。



### 3. 物資の支援をする

現地で支援活動を行う様々な団体が必要としている物資を購入して届ける仕組みがあります

一般社団法人Smart Supply Vision「2024年能登半島地震支援」

一般の方が参加できる被災地支援プラットフォームです。

ボランティア活動を始め、必要物資の募集など様々な情報が掲載されてます。

たすけあおうNippon「被災地を応援ほしい物リスト」

現地が必要とされている物資を通販サイト「Amazon」を通じて購入、被災地に直接届けることができます。



武蔵野からできる支援にもいろんな形があるんだね。それぞれの違いを知って自分の想いに沿った寄付をしてみませんか。

#### 現地で支援活動を行うボランティアプログラムも継続

4月より東京都、災害協働サポート東京、東京ボランティア・市民活動センターの連携による被災地支援プログラムが始まりました。石川県では引き続き都民ボランティアによる支援活動が行われています。募集の詳細は右下の二次元コードよりご確認ください。

被災地支援  
ボランティア  
現地活動レポート

地域での交流・支え合いの場づくりに参加して

Y.M

東京都、東京ボランティア・市民活動センター、災害協働サポート東京の3者による3泊4日の現地支援プログラムに参加しました。参加者は大学生から71歳まで幅広く、企業人や主婦、ボランティアが初めての方、淡路阪神大震災以降被災地での支援活動を続けているベテランなど19名の多様で多彩な方々でした。

現地での活動はサロン（お茶の飲みカフェ）の運営で、主に輪島市・七尾市の仮設住宅を中心とした地域でサロンを運営し、住民同士の繋がりのキッカケのために一緒にお話をしたり、必要な支援の情報提供などを行いました。「一緒に笑える幸せ」をモットーにチームで楽しく活動できましたが、「仮設住宅入居が進むにつれて、被災者の顔が見えなくなった」「仮設で孤立している方がいる」「GW後にボランティアの数が一気に減った」など心配なこともたくさん聞きました。改めて「今できることを一生懸命行うこと」を再認識しました。

現在も避難所で暮らしている方がいて、下水が復旧していないため仮設入浴所を使っています。倒壊家屋もそのまま残り、仮設住宅は建設中ですので日常に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。そのような中でも住民の方から差し入れをいただくなど、温かな元気をもらってきました。これからも継続して心を寄せていくことが大切だと感じています。



今号で掲載した寄付を含めた支援方法やボランティア活動の詳細は東京ボランティア・市民活動センターホームページで確認することができます。情報は変更される場合がありますので、必ず最新の情報をご確認ください。



東京ボランティア・市民活動センターHP

受講生募集

# 失語症会話パートナー 養成講座



## 失語症って・・・？

失語症とは、意識や判断能力が維持されているにもかかわらず、脳卒中や頭部外傷などの後遺症で、話す・聴く・読む・書くなどが困難になる言葉の障がいです。

失語症のある方たちが、会話を楽しみ、周囲の方とのコミュニケーションの架け橋となる人を必要としています。失語症についての基礎的な知識と、援助技術を学んで地域で活動していただけるボランティアを養成します。

### Aコース

#### 「失語症を知ろう」講習

- 9月21日(土)  
13:00~16:00

### Bコース

#### 「会話パートナー養成講座」講習/演習

- 9月21日(土) 13:00~16:00
- 10月17・31日、11月14・28日、  
12月12・26日、1月9日 13:30~15:30

#### 会場：

- ・Aコース 武蔵野スイングホール レインボーサロン 11階(境2-14-1)
- ・Bコース 初回：武蔵野スイングホール レインボーサロン 11階  
2回目以降：障害者福祉センター 会議室(八幡町4-28-13)

対象： 市内在住・在勤・在学で  
18歳以上の方

参加費： 無料 (Bコースはテキスト代  
の実費負担あり)

#### 申込方法

二次元コードまたはEメールに次の内容を記入。

- ①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号
  - ④年代 ⑤在勤・在学者は勤務先・学校名  
(所在地と電話番号も明記)
  - ⑥AまたはBコースの希望を明記
- ※定員を超えた場合は、  
市民、初参加者を優先し抽選

締め切り：8月31日

※講座開始1週間前までに全員に結果を郵送で通知いたします。



## お知らせ

今月号は都合により  
4コマ漫画は休載になります。  
次号から再開予定です。  
どうぞお楽しみに！！



## 事務所移転のお知らせ



社屋建て替えに伴い、市民社協とVCMは  
仮事務所に移転します。引っ越しに伴い、

**9月21日(土)VCMはお休みします。**

**9月24日(火)** より新事務所での  
営業となります。

移転先住所：武蔵野市吉祥寺本町1-14-9  
プレファス吉祥寺フロント7F



## ボラカフェ2024 開催決定！

**10月13日(日)**  
11:00~15:00

会場：二葉総合学園

(武蔵野市吉祥寺南町1丁目3-2 Mrビル)

ボランティア団体による楽しい企画が  
盛りだくさんのイベントです。  
今年は場所を変えての開催です。  
どなたでもお気軽にお越しください！

## 編集後記



どんどん気温が高くなってきましたね。これが発行されるときにはもっとあつくなっていることでしょう。

夏休みはいかがお過ごしですか。何をするにも元気が大切、ということでも食しっかり食べて、疲れたらゆっくり休んで英気を養ってくださいね。無理せず夏を乗り切りましょう！